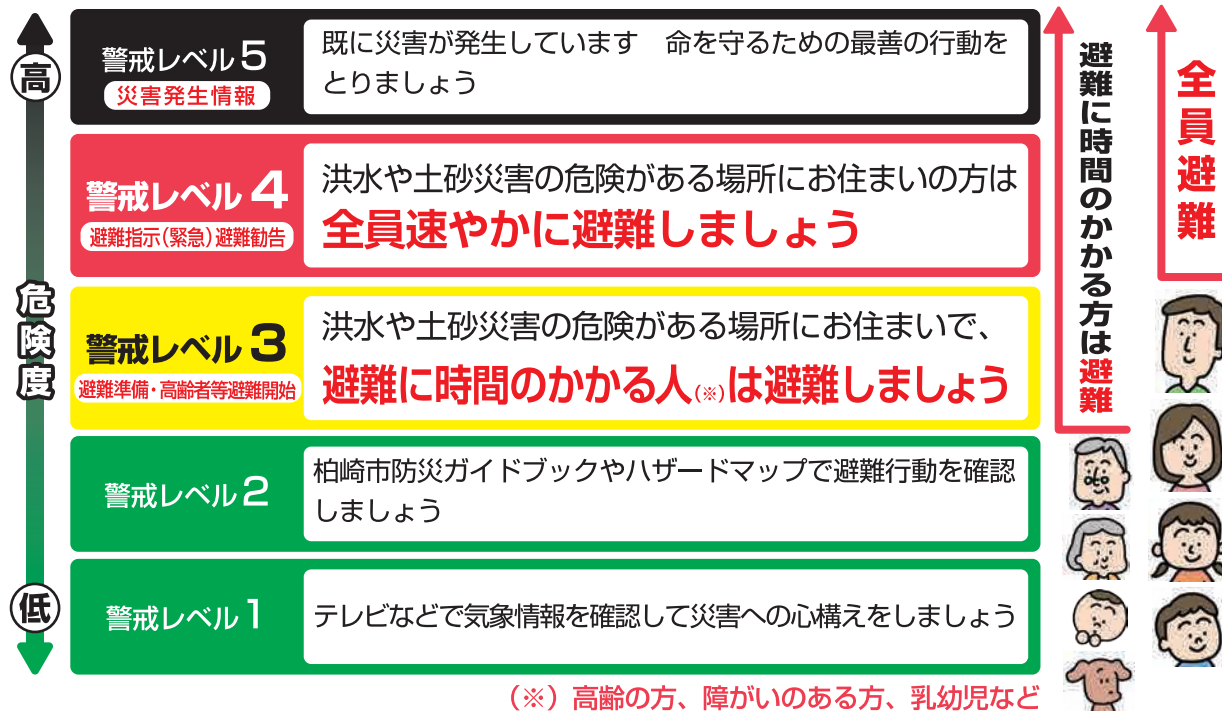


# 風水害 その時は!!

## 警戒レベルについて

「警戒レベル」とは住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階に明記した水害と土砂災害における防災情報です。



## 洪水・土砂災害時における避難行動

避難場所に行くことだけが「避難行動」ではありません。状況に応じてどのような行動にでるか判断しましょう。

- **屋内安全確保**
  - ・自宅の2階、山側ではない部屋へ移動する
  - …屋内で身の安全を確保する
  - ・屋内の安全な場所で待機

- **立ち退き避難**
  - ・避難場所へ行く
  - …危険な場所から逃げる
  - ・近隣の安全な場所へ行く

### 服装

動きやすい服装にレインコートを羽織る。頭はヘルメットが相応しいが、ない場合は帽子。長靴は水が入ると動きにくいので、スニーカーなどが良い。

### 浸水時の避難

マンホールや側溝に注意する。棒などで足元を確認する。**膝上まで水位が来ているときは救助を待つ。**



# 洪水時における避難情報の発令対象区域

河川ごとに決められた水位に到達したときに発令します。発令は河川流域ごとの地区コミュニティ単位で避難を呼びかけます。対象区域は洪水ハザードマップ記載の「鵜川」「鯖石川」「別山川」の浸水想定区域のうち、立ち退き避難が必要である最大浸水深が床上以上（浸水深0.5m以上）の世帯です。

※地区の全ての方が同じ様に避難する必要はありません。洪水ハザードマップを見て、自宅だけではなく、職場など、よく利用する施設の避難場所も確認しましょう。

鵜川 (10地区)	中央・比角・大洲・剣野・枇杷島・半田・高田・上条 ・野田・鵜川 (洪水ハザードマップは P67～P80 を参照)
鯖石川 (10地区)	松波・中央・比角・西中通・北鯖石・田尻・中鯖石・北条 ・南鯖石・高柳 (洪水ハザードマップは P81～P96 を参照)
別山川 (6地区)	西中通・中通・二田・南部・中川・別山 (洪水ハザードマップは P97～P106 を参照)

※ただし対象区域外であっても危険を感じたら避難をしてください。

## 警報・注意報の種類

大雨	特別警報	数十年に一度の降雨量となるおそれ
	警報	重大な災害が起こるおそれ
	注意報	災害が起こるおそれ
洪水	警報	重大な災害が起こるおそれ
	注意報	災害が起こるおそれ
暴風(強風)	特別警報	数十年に一度の暴風が吹くおそれ
	警報	重大な災害が起こるおそれ
	注意報	災害が起こるおそれ

### 水害時は車での避難は危険！

原則として水害が起こる恐れがある時は車の運転は避けましょう。水がタイヤの半分まで浸かるとブレーキの性能が低下し、ドアステップまで浸かるとエンジンが停止する可能性が高いと言われています。

閉じ込められた場合は

脱出用ハンマーを常備しておき、窓を割って脱出します。  
万が一の時に備えて、車に脱出道具も積んでおきましょう。

